

地球惑星科学委員会地球惑星科学国際連携分科会 COSPAR 小委員会 (第 24 期・第 1 回)
議事録

日 時 平成 30 年 2 月 8 日 (木) 16:00~17:30

会 場 情報・システム研究機構 機構本部 機構長室

(〒105-0001 東京都港区虎ノ門 4-3-13 ヒューリック神谷町ビル 2 階)

(上記会場をメインとした Zoom による遠隔会議)

出席： 新井、東覚、中島、中村、藤井、矢野、山岸、山田、和田

Zoom 出席：笠井、佐々木、高橋、藤本、山崎、吉田

欠席： 河合、常田

議事

1. 委員長、役員の選出

委員長に中村卓司委員が推薦され、賛成多数で同氏が選出された。

中村卓司委員長が、幹事に佐々木晶委員と藤本正樹委員を指名し、賛成多数で承認された。

2. 経過報告

以下について中村委員長より経過報告があり、適宜佐々木幹事 (現 COSPAR 理事) が補足した。

(1)委員会の設置趣旨と委員名簿 (資料 1,2)

(2)2017 年 9 月開催の COSPAR シンポジウムの概要 (最終報告は今後)

(3)2018 年度代表派遣の申請状況。プログラム委員会(中村)、総会 (新井)、代表者会議 (派遣者未定) の 3 件をこの順位で申請した。

(4)2018 年の第 42 回総会 (米国パサデナで開催) の投稿締め切り (資料 3)

(5)2018 年今後の COSPAR での会議(ビジネスミーティング)の予定 (資料 3)

(6)現理事の佐々木委員の任期満了について。 (資料 3)

(7)COSPAR 各賞の推薦状況 (国際協力賞 1 件、Zeldovich メダル 3 件推薦)

なお、(6)の理事に関して、今後の対応を議論した。佐々木委員の理事の任期が本年 7 月の総会までであり再選不可である。理事の被選挙権は各国の代表者が有するため、日本の代表を現在の佐々木委員から、藤本正樹委員に交代することが諮られ、承認された。

また、矢野委員から各コミッションで Outstanding Young Scientists Award の候補を Advances in Space Research 誌の著者から選考中であることが報告された。

3. 第 42 回 COSPAR 総会について

資料 3 をもとに中村委員長から 2018 年 7 月開催の第 42 回総会 (米国パサデナで開

催)の投稿締め切りが1週間延長され2月16日となったことと現在の投稿数等が報告された。

4. COSPAR 総会の招致活動について

資料4および5に基づき、COSPAR 総会の日本への招致を検討することを小委員会の今期の重要な活動とする提案を COSPAR 理事の佐々木委員と COSPAR プログラム委員の中村委員とで提示する旨、委員長から説明があった。

総会はこれまで1968年に東京、1998年に名古屋と2回日本で開催されている。今後探査ミッションも多数控えており、2020年代はそろそろ3回目の開催をしてもよい時期である。立候補表明は4年後のものを3月の理事会までに提出することで行われ、評価委員会が現地訪問などを行った報告を受けて総会時の代表者会議で投票で決定する。

小委員会で招致の検討を行うという提案については、賛成多数で承認された。その上で詳細に関する情報提供や意見交換がおこなわれた。以下主な論点である。

- 今年選考される2022年は、前回2020年に向けて争って落選したローザンヌとプラハの欧州2都市が強力な候補であり、地域(大陸)のローテーションを考えても、提案準備期間を考えても日本の立候補は難しく、2024年以降がターゲットとなる(東覚、佐々木)
- 総会の予算は億円の規模になるが、参加費のうち275,000ユーロはCOSPAR 本体運用の財源となる。(佐々木)
- 総会には、セッション会場数が20-30必要であり
- 学術会議の共同主催を得るには4年前であれば可能であろう。(中村)
- ICSU下の連合(IUGG等)では、科学総会開催の意義が問われている。AGU, EGU, JPGU, AOGS等、地域で毎年開催されて会合との競合も考慮してCOSPAR 総会開催の意義を十分検討する必要あり。(中村)
- JAXAやISASのサポートと積極的参加がないと実施は不可能であろう。(中村、藤井)
- 名古屋総会(1998)を経験したが、事務量がものすごい。大きな組織のLOC支援と外注化が必須と思われる。(藤井)
- 今回の提案(資料4)の内容はよいとして、JAXAに働きかけるには、JAXAが納得するCOSPAR 総会の役割やメリットを強調する必要がある。(藤本)
- JAXAの地球観測については、COSPARよりIUGGがメインであるのでそちらに軸足があることに留意願いたい(中島)

総会招致の本格検討についてJAXA-ISASへの積極的参加の依頼を、本小委員会が作成し、上部分科会である国際連携分科会(中村尚委員長)より依頼の文書を発出してもらうこととした。文案については、小委員会委員長に一任とすることとした。

また藤井委員から、第24期当初に COSPAR 分科会を小委員会化するにあたり、学術会議から旅費等を支給できなくなるため、ISAS に COSPAR 小委員会の旅費について相談を行っている。小委員会前に打ち合わせが必要なことから、小委員会直前の準備会合を ISAS が開催する方策が一つの可能性である、との補足報告があった。本件山田委員が確認することとなった。

5. その他

次回の小委員会は新年度に総会までに開催することを確認した。

以上